

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

1 前年度 評価結果の概要	・「賢さ」「優しさ」「逞しさ」を具現化しながら、「ふるさとに誇りをもち、夢に向かってチャレンジする児童の育成」に努めてきた。自分のよさを知り、友達と協力しながらがんばろうとする子供の姿をよく見かけられるようになった。また、保護者や地域の協力によって、「ふるさと名護屋」の理解が着実に高まり、児童もふるさとに愛と誇りをもつ子が多数を占めるまでになった。さらに、学校周辺にある「名護屋のたからもの」をさらに発見、体験して、ふるさとへの愛着と誇りの気持ちを高めさせていきたい。 ・少人数のよさを生かし、校内研究を深め、子どもたちの学力向上に努めていきたい。
------------------	--

2 学校教育目標	育てよう！未来を広げる「賢さ」「優しさ」「逞しさ」 — 発見！体験!!ふるさと名護屋のたからもの —
----------	--

3 本年度の重点目標	■賢 さ～しっかりと考え、自ら進んで学ぼうとする子どもを育てる。 ■優しさ～思いやりの心をもち、仲良く協力し合う子どもを育てる。 ■逞しさ～チャレンジ精神をもち、最後まであきらめない子どもを育てる。
------------	---

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目										
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○学習に対する心構え及び学習環境・規律の定着	○授業前の学習用具の準備率を90%以上にする。 ○授業中、自分の考えや意見を発表することができる児童の達成率を80%以上にする。 ○授業中、友達や先生の話をしっかりと聞くことができる児童の達成率を90%以上にする。	・学習規律に関するアンケートと、学習に必要な生活習慣に関するアンケートをとり、取り組みに対する進捗状況を確かめる。 ・取り組みに対する進捗状況や結果を、学校だよりや学級通信、懇談会などで紹介したり、啓発したりして、目標達成に向けた更なる意欲の向上を図る。	・		・		・	・学力向上対策コーディネーター	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○児童生徒が年間1回は月目標を達成し、○○名人となるようにする。 ○公の場で相手を尊重する呼称(さん)を付けることのできる児童を80%以上にする。	・月目標の達成者を○○名人として放送することで、めあて達成への意識づけを行う。また、年間を通して○○名人を掲示することで達成への意欲を高める。 ・～さんと呼ぶことができるかを、月目標の振り返りで確認し、評価する。	・		・		・	・人権・同和教育担当者	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○Q-Uテストで「学級生活満足群」の割合を70%以上にする。 ○いじめ未解決案件を0件にする。	・学校生活アンケートを学期に一回実施し、状況把握と児童の困り感の解決に努める。 ・学校生活において、児童の困り感を職員連絡会等で共通理解する。 ・Q-Uテストの結果や学校生活における児童の困り感を基に、SCやSSW等と協力しながら良好な対人関係を築く。	・		・		・	・生活部	
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童90%以上 ●◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童85%以上	・校内研究の充実を図り、楽しく分かる授業を展開するように努める。また、各教育活動において、児童への称賛的な声掛けや支援を意識した指導を行う。 ・努力して達成可能な年間の目標や各学期のめあてなどを立てさせると共に、それに向かって自ら率先して行動に移せるように環境を整え支援を行う。	・		・		・	・教務主任	
	○毎日の登下校指導	○毎日の登校の集合時間を守っていたり、地域の方へ挨拶をしたりしている児童を80%以上にする。	・5～6年生の地区長を月末に集め、登下校の評価をさせたり、問題を話し合ったりする。	・		・		・	・生活部	
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒80%以上 ●「健康に良い食事をしている」児童生徒100%以上	・職員やもりもり健康委員会からの広報により外遊びを奨励したり、外遊びをよくしている学年を称賛したりする。 ・スポーツチャレンジに取り組み、記録を掲示したり学級だよりで広報したりする。 ・学級指導や保健だよりで食事の大切さを伝えていく。 ・食の大切さをもりもり健康委員会から全校児童に伝える。	・		・		・	・保体部	
	○早寝をして、望ましい生活習慣を身に付ける	○よい子のくらしアンケートで、決められた時間に寝ている児童を80%以上にする。	・毎日の健康観察時に、早寝ができていない子の理由をたずねて、改善していく。	・		・		・	・保体部	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・業務を見直し改善を図る。はなまる連絡帳を活用し、連絡やアンケートの集約を簡潔にする。 ・長期休業期間の業務を精選し、年休取得を促す。	・		・		・	・管理職	
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する意識の向上を目指す	○特別支援教育に関する意識が向上したと回答した教員が80%以上	・研修、講座等の内容を職員研修で情報共有・共通理解する。 ・夏季休業中に職員研修を行う。 ・職員連絡会等で定期的に気にとめおく児童の情報交換をする。	・		・		・	・特別支援コーディネーター	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○地域に開かれた学校づくりの推進	○総合的な学習の時間「ふるさと名護屋」の実践 ○学校の教育方針並びに教育活動の広報	○名護屋のよさを感じることができた児童60%以上。 ○学校における教育活動の様子を家庭や地域に向けて積極的に発信する。	・名護屋城跡をはじめ、ふるさとのヒト・モノ・コトについて地域の人と学び、感心をもたせる。 ・学校だよりの発行や学校HPの更新等に努める。	・		・		・	・管理職	

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------